# **ペテカリ山荘**とトイレの調査票(1/2)

調査年月日:2022.9.3~4 調査員:城石謹爾

(日高山脈ファンクラブ)

)

調査区分(右の□にチェック) ■山小屋 □登山口仮設トイレ □携帯トイレ設備

□小屋名:ペテカリ山荘 □所有者と担当:新ひだか町(総務部まちづくり推進課)

□連絡先: 0146-49-0294 □実際の維持管理: 静内山岳会

□定員:30名 □何階建か:2階 □ストーブ:あり(燃料:薪) □水:屋内外にあり □協力金(一泊):500円

□**建物の傷み具合**(ドア・外壁・屋内・屋根等) その他特記事項(具体的に)

・2階窓4ヵ所のうち3ヵ所の網戸(巻取り式)に不具合あり(※1)

・屋根のペンキ塗装:正面向かって左側の一面は9.3に実施。残る右側の一面はサビ取り実施

□形態:小屋内(一度玄関の外に出てデッキを伝いトイレに入る) □方式:貯留(汲み取り)

□男女共用(和式 2穴)

小

屋 ト

1

 $\Box$ トイレットペーパー: あり なし  $\Box$ 和式の場合の手すり: あり なし ( $\times$ 2)

□**トイレの清潔度**:きれい まぁきれい きたない ひどくきたない (具体的に (**※3**)

□**臭い**:する 少しする 殆どしない □**換気扇**:(あり) なし (**※4**)

□**便槽内のゴミ投棄** : (殆どない) ある (**※5**) □清掃用具 : (あり) なし (**※6**)



2階建のペテカリ山荘



1階



1階の流し台



2階



トイレ入口の照明スイッチ。 1度押すと5分点灯。暗くなっ てから更に押すと5分延長



入ってすぐの左側のトイレ (手すりは横タイプ)



入って突き当り奥のトイレ。 照明スイッチは1回押すと 5分点灯(手すりは縦タイプ)



トイレ照明用ソーラーパネル



屋外炊事場(近くの湧水を活用)



便器内部

静内山岳会:前回の汲み取りは4年前に実施。町でバキュームカーを入れている。その後、新型コロナウィルス禍や8月の 大雨による元浦川林道の通行止めによる登山者の減少により、通常と比べて貯留量は少ない

# ペテカリ山荘とトイレの調査票(2/2)

調査年月日:**2022.9.3~4** 調査員:**城石謹爾** 

(日高山脈ファンクラブ)

### □静内山岳会からのヒヤリング

- ・山荘の協力金は一泊500円。利用者名簿への記入をお願いしている。
- ・西尾根コースの登山道整備について:最終コルから頂上までの標高差約500m急登部の笹刈り作業及び山頂標識のペンキ補修は来年以降に行う予定

#### □前ページの注意事項(※印)

※1:建物の傷み具合:3ヵ所の巻取式網戸のロール部に捩れが生じ、きちんと巻かさらない状態であるため、網戸の機能は果たされていませんでした。したがって窓を開けると時折スズメバチが部屋内に入り込んで来る状態でした。 9.3時点では、建物裏側の軒天井部にスズメバチの巣を確認しています。

※2:和式の手すり:入って左側のトイレは横タイプ、入って突き当り奥のトイレは縦型タイプでした。

※3:トイレの清潔度:便器内と床の汚れは両トイレとも見られませんでした。ハエの死骸が手前左側トイレ窓のサンには7匹程度、入って突き当り奥のトイレ窓のサンには10匹前後が散乱していた他は特変なし。

※4:換気扇:換気扇はありませんが、いわゆる"丸型ガラリ"の通気口が両トイレ内の 窓側壁上部にありました。またトイレドア下部には長方形のガラリがついていました。 これらにより自然換気が行える構造になっていると思います。



丸型ガラリ

※5:便槽内のゴミ投棄:両室とも便器の中を覗き込んだ限りでは、トイレットペーパーの他は確認できなかったというのが実際のところです。

※6:清掃用具:トイレ内に箒、雑巾、トイレ用洗剤、バケツが備えてありました。

### □その他の特記事項

- ・水は近くの湧水を活用。小屋内の流し台及び屋外(離れ)の炊事場へそれぞれ導水されています。
- ・トイレは小屋に併設されているが、利用の際には一旦玄関の外へ出てからデッキを伝い、トイレ出入口へ向かう 構造となっています。
- ・流し台の利用についてもトイレ利用と同様、一旦玄関の外に出てからデッキを伝い、トイレとは逆側の流し台 出入口に向かう構造となっています。
- ・薪は山荘正面の床下に貯蔵されています。9.3山荘の環境整備の際には、倒木を活用した薪割りを実施し、補充しています。
- ・ペテガリ岳西尾根コース登山道の整備は9.4に実施していますが、コース上における登山者の排泄物及びその 痕跡は認められませんでした。
- ・9.4笹刈り時、コース上に500mlペットボトルが計3本、飴の袋が2個あり回収しました。ボトルには水が入っており、意図的に投棄されたものではなく、恐らくザックのサイドポケットに入れていた本体が藪漕ぎ登降時、振動や樹木の引っ掛けにより落下したとものと思われます。
- ・山頂標識のペンキが少し剥離してきているのを確認しましたが、山名はしっかり読み取れる状態です。また コース上に落下した枝の撤去や笹刈りは最終コル付近まで行われています。一方、最終コルから頂上までの 標高差約500m急登部の笹刈りは未実施です。
- ・コース上、深さ10~15cm前後のガリー侵食と、侵食部を避けるように頂上に向かって左側に新たなる踏み跡が生じている箇所が一部に認められました。
- ・9.3昼前、ペテガリ岳から下山してきた大学山岳部パーティ会いました。数日前にナナシ沢より入渓、ルベツネ岳 ~ペテガリ岳を経て、これからベッピリガイ乗越経由で、今晩は神威山荘泊。翌日に通行止めとなっている元浦川 林道を歩き荻伏に行くとのこと。8月中旬の大雨で日高も各所で林道通行止めとなっていますが、それでもごく 少数ではあるも入山している登山者がいる事が把握できました。
- ・今回、新ひだか町役場主催によるペテカリ山荘環境整備及びペテガリ岳登山道整備の作業で、一般ボランティアの 一員として参加させていただきました。 私が所属する「日高山脈ファンクラブ」では「山のトイレを考える会」と協力して、現在、日高山脈各登山口の 山荘・山小屋やトイレの実態把握を行っていますが、ペテカリ山荘とトイレ、及びペテガリ岳西尾根登山道の現況 についても、この度の環境整備作業とあわせて調査・確認する事ができました。

ご協力いただいた静内山岳会、新ひだか町、環境省帯広自然保護官事務所、日高中部消防組合、その他関係機関の 皆々様、そして私と一緒に参加された一般ボランティアの皆様に心から感謝を申し上げます。